

平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	名古屋大学		
プログラム名称	トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム		
プログラム責任者	高橋 雅英	プログラムコーディネーター	山口 茂弘

【採択理由】

本プログラムは、卓越した教育研究実績の上に、化学・生命科学分野における融合フロンティアを拓き未来の知を創出する研究人材の育成を図るものであり、その卓越性は高いと言える。世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）の採択拠点であるトランスフォーマティブ生命分子研究所（ITbM）における化学・生物学の融合研究や博士課程教育リーディングプログラムの実績と経験に基づく、優れた教育・研究の相乗効果が期待される。

教育プログラムに関しては、ミックスラボやダブルメンターといった複数指導体制、よく整備された教育カリキュラムと教育水準担保の仕組み、優れたマネジメント体制などの創意工夫が見られる。教育研究体制についても、参加する研究者の経験・実績も豊かで、学生主体の大学院教育の実現・成功へ向けたコミットメントレベルも高い。加えて、多くの企業が参加する ITbM コンソーシアムや、海外協力機関との連携により、総じて高い教育効果を期待できる内容となっている。

また、ITbM コンソーシアム等を通じた外部資金の継続的獲得、大学本部による補助期間終了後の継続的な支援へのコミットメントなど、継続性及び発展性も担保されている。さらに、国際的に優れた研究教育体制と実績、整備された教育環境、評価・質保証の仕組み、女性リーダー育成のための取組や海外の研究者と協働する Co-PI の参画など独自の工夫が盛り込まれている点も高く評価できる。

本プログラムは、世界的に卓越した研究組織において卓越した教育の展開を目指す際のプロトタイプとなり得るものである。さらに、異分野融合による高度な「知のプロフェッショナル」の育成に大学院として具体的にどのように取り組むべきかという点においても、今後他大学における取組のモデルとなる可能性のある意欲的な提案となっており、着実な計画の実施が望まれる。